

# LRP

Let's Read Project

2010

読楽プロジェクト



# Contents

- |    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 2  | はじめに                               |
| 3  | マンガ『ピエールくん』                        |
| 4  | <b>LRP 2010年度 活動報告</b>             |
| 5  | 5/7 恒例「新入生歓迎本棚」2010年度版 公開          |
|    | 5/19 『Book Holic』編集の 학생さんと交流しました!  |
| 6  | 6/4 「新入生によるオススメの本棚」公開!             |
| 7  | 7/2 「TRAVEL WITH BOOK 2010」本棚公開!   |
| 9  | 8/9 & 9/13 マンガ図書館 & 明治大学博物館見学ツアー   |
| 11 | 10/1 「アートな大型本」本棚公開!                |
|    | 10/8 「読書日和 私の本棚」公開!                |
| 12 | 11/24 ~ 11/26 図書館総合展でLRPの活動を発表しました |
| 13 | 10/27 コミック・アゴラ 2010 開催!            |
|    | 12/3 「クリスマスに贈る一冊」本棚公開!             |
| 14 | 1/17 「これが、わたしの歩む道」本棚公開!            |
| 15 | 2/10 第4回 選書ツアー開催!                  |
| 16 | <b>特集 新聞『Counter』</b>              |
| 17 | 本を食べる——一冊の本から一皿の料理を——              |
| 18 | 読書日和                               |
| 19 | PICK UP BOOK                       |
| 21 | 今年を振り返って… LRPメンバーの声                |
| 23 | 本棚案内マンガ                            |

[表紙]  
2010年度図書館総合展ポスターセッションで  
発表した『双六で見るLRP』

作: 芸術学科1年/びぐめん





## はじめに

2008年に発足したLet's Read Project (LRP) も、今年で活動開始三年目となった。一年目、二年目と比べて参加メンバーがぐっと増え、ずいぶん賑やかな集団になった。LRP 活動の軸のひとつ、館内三階での本棚公開企画は、メンバーが増えて館内の様々なジャンルの本が集まりやすくなったことにより、公開回数も増え、選ぶ本の方向性もバリエーションに富み、ご覧になった方々にも LRP という集団の変化を感じていただけたかと思う。

昨年度から案の出ていた企画のいくつかは、今年度に入り形になった。フリーペーパー『Counter』の創刊(2010年7月)もその一つだ。原稿書きから編集まで、すべて自分たちで仕上げ、「季刊」発行を目標にスタートして、順調に3号まで出すことができた。その中味はといえば、もちろん LRP 活動の報告も記事になっているが、メンバーによるコラムや「オススメの本」(Pick Up Book)、好きな音楽 (Favorite Song) や映画の紹介 (CINEMANIAC)、料理レシピ「本を食べる」なども紙面を飾る。ふだんは企画本棚に添えられるポップでしか発言しないメンバーたちが、一言二言では終わらない「熱い言葉」を発信しているので、こちらもぜひご覧いただきたい。

ひとつの企画に LRP メンバー全員が参加していた昨年とは異なり、今年はそれぞれに担当のメンバーを配置しながら、多数の企画が同時進行していた。学外に飛び出して本好きの人々と交流する経験もした。この『レポート』には、そのひとりひとりの才能が発揮された成果がぎっしり詰まっているので、じっくりとご堪能いただきたい。

昨年度から参加している自分としては、ほんとうにこの集団の変化を感じずにはいられない一年だったが、発足当初からの「本を読もう！」という読書推進運動の軸がぶれることはない。

私たち LRP は、学生と本との幸せな出会いの「きっかけ」を、これから先も提供していきたい。LRP の活動の目的は、学生のみなさんにその「きっかけ」を拾ってもらうことにあるのだから。

総合文化学科2年/御膳



# ピエールくん

第1話「まずは自己紹介」



# ピエールくん

第2話「ボクはサニタ」



# ピエールくん

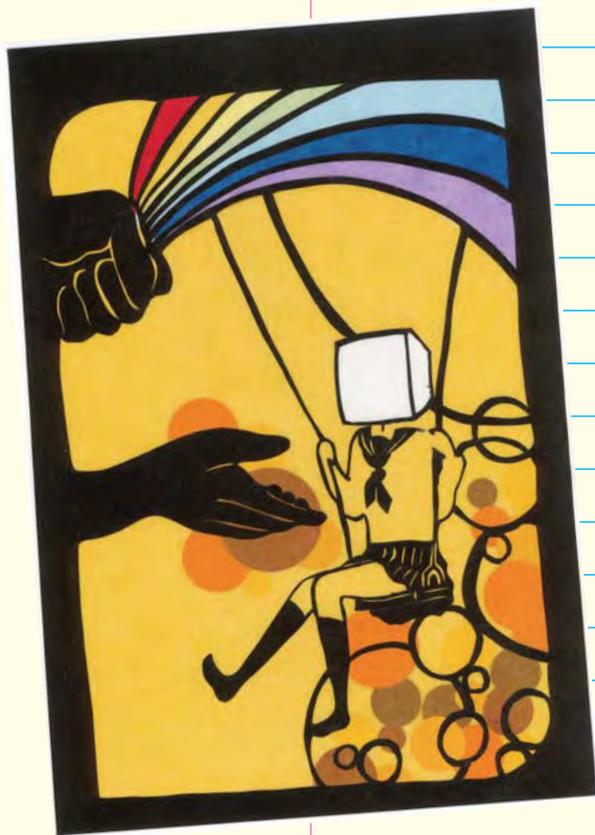
第3話「2011年の初夢は？」



# ピエールくん

番外編「LRPの活動」





# LRP 2010

年度

## 活動報告



- 5/7(金) 「新入生歓迎本棚」2010 年度版公開
- 5/19(水) フリーペーパー『Book Holic』編集の学生さんと交流!
- 6/4(金) 「新入生によるオススメの本棚」公開!
- 7/2(金) 「TRAVEL WITH BOOK 2010」本棚公開!
- 8/9(月)・9/13(月) 米沢嘉博記念図書館 & 明治大学博物館見学ツアー
- 10/1(金) 「アートな大型本」本棚公開!
- 10/8(金) 「読書日和 私の本棚」公開!
- 10/27(水) コミック・アゴラ2010 開催!
- 11/25(木) 図書館総合展で LRP の活動を発表
- 12/3(金) 「クリスマスに贈る一冊」本棚公開!
- 1/17(月) 「これが、私の歩む道」本棚公開!
- 2/10(木) 第4回選書ツアー開催!

5/7

恒例「新入生歓迎本棚」2010年度版 公開



今年最初の企画本棚です。春休み中に「選書ツアー」を実施し、先輩メンバーが厳選した本に楽しいPOPをつけて、ディスプレイしています。古典あり、写真集あり、ミステリあり、ラノベあり…。週替わりで入れかえていきますので、どうぞお楽しみに！

新入生歓迎本棚  
2010  
\*5月7日~  
\*3階本棚にて開催中

先輩メンバーが「選書ツアー」で厳選した本を週替わりで読めます。お楽しみに！  
ポスターは1年生のメンバーが作りました！

Let's Read Project

ちなみに、宣伝ポスター(3種)は新入生メンバーの力作です。

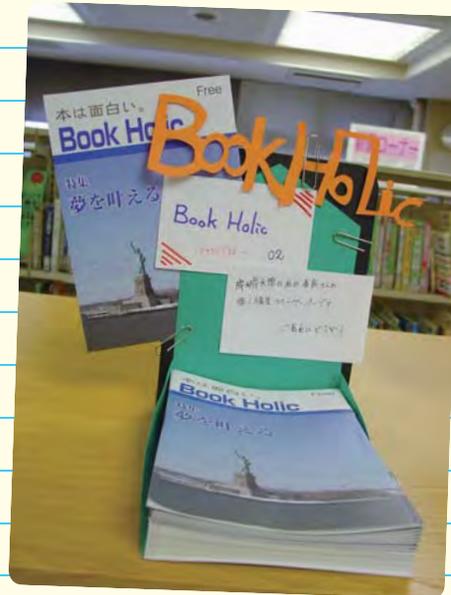
2010  
新入生歓迎本棚  
5月7日~  
開催!

先輩メンバーが「選書ツアー」で厳選した本を週替わりで読めます。お楽しみに！  
ポスターは1年生のメンバーが作りました！

5/19

『Book Holic』編集の学生さんと交流しました！

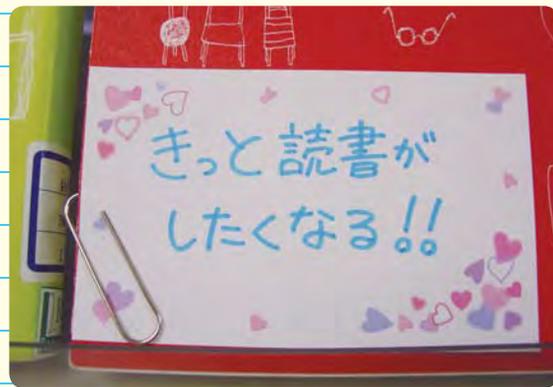
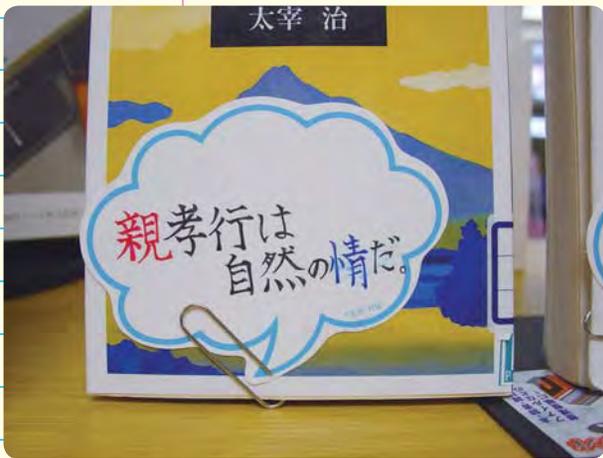
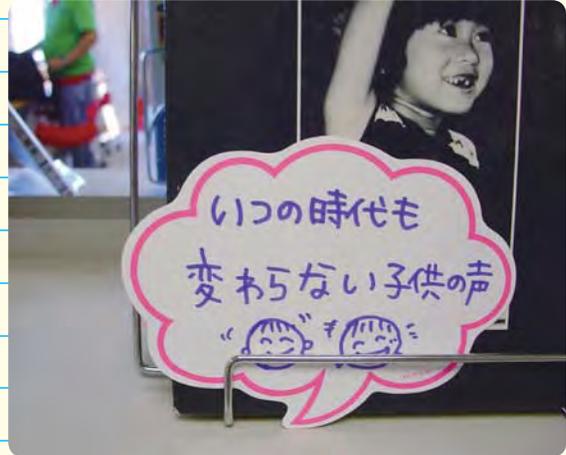
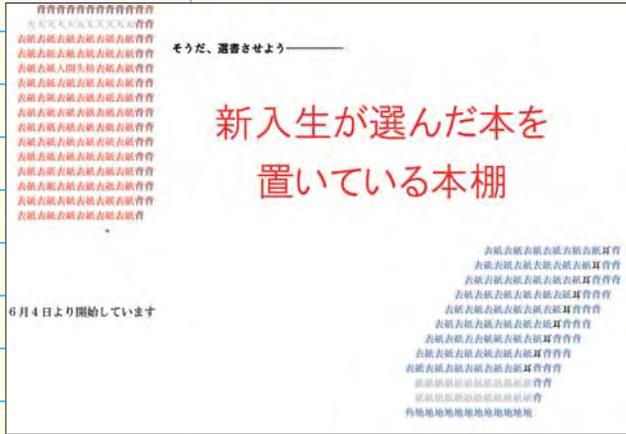
たったひとりで『Book Holic』という本を紹介するフリーペーパーを編集・発行している成城大学3年の石井香奈さんがその第2号を届けがてら、LRPのメンバーと交流するために訪問してくださいました。初対面とは思えないほど、打ち解けて楽しい時間を過ごすことができました。今後も引き続き、お互いの企画で交流していきましょう！



6/4

### 「新入生によるオススの本棚」公開！

2010年度新たに加わった新入生メンバー11名が館内のたくさんの本の中から、各自5冊～10冊程度を選びすぎり、POPも手作りして、棚をつくりました。2010年6月4日から公開しています！ぜひ手にとってみてください！



7/7

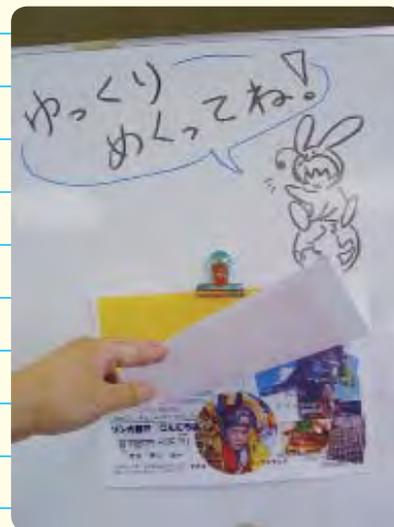
### 七夕のひとコマ…



部室の手作りの笹の葉にメンバーの願いごとが並びました。

7/2

「TRAVEL WITH BOOK 2010」本棚公開！



ポスターに誘われて...

FIFA ワールドカップで盛り上がり、夏休みも目の前の時期に、世界の国々をメンバーがご紹介します。今回の企画は、その名も「TRAVEL WITH BOOK 2010」。LRP メンバーがお気に入りの国を担当し、各国に関連した本を集めました。大きく「アジア」「ヨーロッパ」「アフリカ」「アメリカ」に分けて、毎週金曜に入れ替え制で公開していきます。夏休みを目前にして、世界の国々に思いをはせるもよし、本を読んで実際にその国に行ってみるもよし。ぜひご覧ください！



# FINLAND

「マリンッコ」  
「ハイグラー」  
「カムラカ」  
「フム、モシ」  
「ソクランコルダ」

正式名称…フィンランド共和国 (Suomen tasavalta) 首都…ヘルシンキ  
人口…約 532 万人  
言語…フィンランド語、スウェーデン語  
通貨…ユーロ

「ハイグラー」  
「ソクランコルダ」

「マリンッコ」  
「ハイグラー」  
「カムラカ」  
「フム、モシ」  
「ソクランコルダ」

# 中華人民共和国

•首都：北京 (ペキン)  
•面積：959万7000 km<sup>2</sup> (世界第3位)  
•人口：約13億人 (世界第1位)  
•公用語：中国語  
•通貨：元  
•おすすめ品：中国茶  
★中国語で「こんにちは」  
「你好。(ニ-ハオ)」



# ドイツ連邦共和国

人口：8250万人  
面積：35万7000km<sup>2</sup>  
首都：ベルリン  
主な言語：ドイツ語  
＜こんにちは＞ Guten Tag  
グーテン タグ

「ドイツ」  
「ビール」  
「パン」  
「ソーセージ」  
「チョコレート」

「ドイツ」  
「ビール」  
「パン」  
「ソーセージ」  
「チョコレート」

# ブータン王国

-Kingdom of Bhutan-

幸せの国へ…

人口：68万人  
首都：ティンプー  
面積：47,000平方キロメートル(九州とほぼ同じ)  
宗教：世界で唯一チベット仏教を国教とする  
言語：ゾンカ語、英語、ネパール語…等  
通貨：ヌルタム(1ヌルタム=約2.8円)  
民族：ガロン約20%、ツァンラ約30%  
ローツァン(約40%)  
国技：アーチエリー(ダチエという)

「ブータン」  
「チベット」  
「ドラゴン」  
「僧侶」  
「伝統衣装」

旅に出かけよう!

# チェコ共和国

(Czech Republic)

●首都 プラハ  
●人口 1,043万人  
●面積 78,866平方キロメートル  
●言語 チェコ語  
●民族 チェコ人94%、その他スロバキア人、ロマ人等  
●宗教 カトリック 26.3% 無信仰 58.3%(1)  
●通貨 チェコ・コルナ  
●出身作家 フランツ・カフカ カレル・チャペック

「チェコ」  
「プラハ」  
「カフカ」  
「チャペック」

# カナダ-Canada-

★北アメリカ大陸北部に位置する連邦立憲君主制国家  
★面積9,984,670km<sup>2</sup>。世界で2番目に大きい国土面積  
★人口3412万7千人  
★通貨カナダドル  
★公用語は英語とフランス語。州によって定めている公用語が違う。  
★名産品はメイプルシロップ。高級なものほど色が薄くなる。

★カナダで言ってみようこんにちは★  
英語: Hello! (ハロー!)  
フランス語: Bonjour! (ボンジュール!)



# マダガスカル共和国

人口：1900万人  
面積：58万7000km<sup>2</sup>  
首都：アンタナリボ  
主な言語：マダガスカル語  
フランス語  
＜こんにちは＞ Salama  
サラマ

「マダガスカル」  
「アンタナリボ」  
「サルタン」  
「ワニ」  
「ゾウ」

# アルゼンチン共和国

REPÚBLICA ARGENTINA

首都：ブエノスアイレス  
面積：278万4000 m<sup>2</sup> (世界第8位、日本の2.5倍)  
人口：約4030万人 (2007年統計)  
公用語：スペイン語  
通貨：アルゼンチンペソ  
特産物：銀製品、革製品  
有名なモノ：アルゼンチンタンゴ (タンゴ発祥の地である)

「アルゼンチン」  
「ブエノスアイレス」  
「タンゴ」  
「ペソ」

# カメルーン共和国

REPUBLIQUE DU CAMEROUN

●公用語：フランス語、英語  
●首都：ヤウンデ  
●人口：約2000万人  
●通貨：CFAフラン

「カメルーン」  
「ヤウンデ」  
「カメルーン」  
「ヤウンデ」

おすすめの国に詳しくなれる！  
情報コーナーを設けました。

8/9  
&  
9/13

## マンガ図書館 & 明治大学博物館見学ツアー



2010年の夏の見学ツアーは8月9日、9月13日の2回に分かれ、明治大学の米沢嘉博記念図書館（まんがとサブカルチャー）と明治大学博物館の2ヶ所に行ってきました。「大学が運営している博物館」というテーマと、メンバーも興味関心の高い「まんが」に関連するということで、見学先を決定。2回のツアーで学生メンバー17名とスタッフ4名が参加しました。

### 米沢嘉博記念図書館

[http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/)

米沢嘉博記念図書館は、まんが評論家であり、同時にまんが界の大イベント「コミックマーケット」準備会前代表として知られる米沢嘉博氏が収集したまんが雑誌・単行本・同人誌・風俗雑誌などが収められています。1F展示室や閲覧室のほか、普段は一般公開されていない閉架書庫も特別に見学させていただきました。「同じまんが雑誌でも年代によって表紙に変化がある」といったトリビアや、発売された当時の状態を保つための收藏の裏話なども伺い、大変濃密な時間となりました。



## 明治大学博物館

<http://www.meiji.ac.jp/museum/>

明治大学博物館では、主に「商品」「刑事」「考古」といった3つの部門に分かれた展示を、学芸員の説明のもと、見学しました。それぞれ、日本の誇る伝統工芸品や現代までの考古学調査の歴史、日本・西洋における刑罰とその歴史など、特徴ある展示品があり、その迫力に圧倒される一場面もありました。



### 参加したメンバーの感想

#### 米沢嘉博記念図書館

毎週購入している雑誌の創刊号や、過去に連載されていた作品を本誌で見られるということに凄く感動しました。(はーちゃん)

あの建物に泊まり込んで、懐かしの作品を鑑賞しながら当時の雰囲気を感じたい。収集者の熱意が伝わってきてとても充実していた。同時に、日本のマンガカルチャーがいかに奥深く歴史があるものかということも。(319)

保管されている大量の雑誌に圧倒された。米沢氏は、普通なら捨てられてしまうものを取っておくというスタンスだったと聞き、この世に無駄な雑誌など存在しないのではないかと感じた。(猫子)



ボクの小学校時代を共にしたコロコロコミックが無かったのはなぜだろうか…。(びぐめん)

コミックマーケットの見取り図や写真、歴代のコミケカタログが興味深かった。第三者視点でみるとこんな風に見えるのかと感心した。また、展示されていた同人誌やマンガに自分の所持品と同じものが数多くあり、興奮した。米沢さんは本当に偏見をなく収集していたのだろう。(無記名希望)

手にとって雑誌の中を読めるなんて本当に貴重な場所です。『ガラスの仮面』第九話の巻頭カラーの号があって、母に見せてあげたくなりました。(夕陽)

#### 明治大学博物館

参加した事で、もっともっと本や昔に使われていた道具について触れてみたくなりました。(キセキ)

江戸期の刑罰に使われた石抱かせ、海老責め等々、じわじわ痛み付ける刑が多いなと思いました。アイアンメイデンという処刑台の名前を取ったバンドはここからきているのだなと分かった。(ドラ息子)

ギロチンと鉄の処女は、言葉はあまり良くないが、「負の世界遺産」ならぬ“負の明大遺産”である。(美墮落先生)



染め物や焼き物などの工芸品、御成敗式目や武家諸法度など条例の複写など、日本の歴史を感じる貴重な品々を見ることが出来ました。(はなか)

展示品がどれも見やすく置かれていて、館内の通路にゆとりがあり、見学しやすかった。(NI)

アイアンメイデンやギロチンが実物でないのはともかくとして、実物サイズでないのが残念だった。博物館にあるものでは、せいぜい子供くらいにしか使えやしない。鋸引きの説明も、もうちょっとはっきり生々しくやってもらえないかなあと、若干獵奇思考を持つ私である。(九代目)

10/1

「アートな大型本」本棚公開！



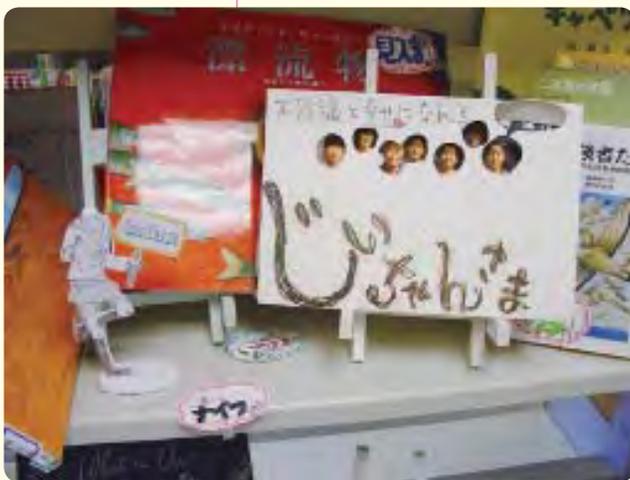
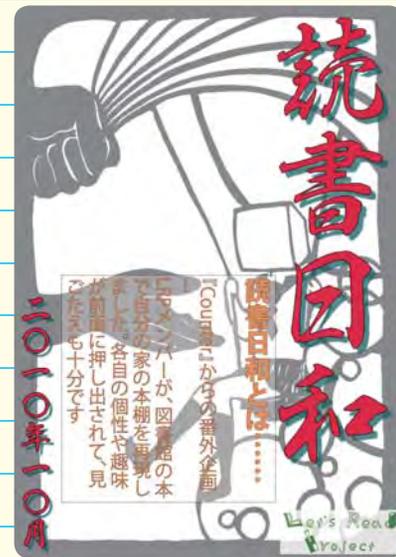
読書の秋、芸術の秋ということで、2010年度後期初のLRP本棚企画は、「アートな大型本」。画集、写真集、デザイン、ロボット…。見た目のインパクト重視です！本棚を眺めているだけでも楽しいかも。



10/8

「読書日和 私の本棚」公開！

LRP新聞『Counter』より持ち出し企画！連載企画「読書日和」をもとに、LRP部員の部屋の本棚を再現しました。展示スペースいっぱい、部員の趣味の世界が広がります。(他人の本棚って、気になりますよね…)



11/24~26

## 図書館総合展でLRPの活動を発表しました



### 参加したメンバーの感想

自分は1日目に参加しました。料理と本とをコラボさせた企画や、傷が付き痛んでしまった本を修理してくれるところもあるなど、本に関する色々なことを知れて、自分ももっといろいろなアイデアを出していこうと思いました。本を愛する人達が集まる図書館展に一日でも参加できたことは、とても良い思い出になりました。見に行く価値は十分にあります！（キセキ）

私は2日目にあたる24日に参加した。何度か会場を回り他の出展を見学し、出展している企業の数の多さに驚く。和光大学の図書館の出入り口にも設置されているゲート、図書館の検索システム、電動書架など、見慣れたものも目に入る。普段何気なく利用している図書館には、本と利用者と職員以外にたくさんの人々や商品、サービスが関わっていたことを実感できた。（御膳）

最終日にお手伝いしました。メンバーの作った展示をひと目見てもらおうと、人見知りで自己主張をするのが苦手な私も一生懸命アピールしようと声をかけました。見知らぬ人を前にし、緊張し、たどたどしいことありましたが、興味を持ってくれた方もたくさんいました。声をかけそびれても、多くの方が『Counter』を持っていってくれました。私が入学する以前のLRPメンバーの先輩方や活動を写真で見たり、色々な方とお話しでき、とても貴重な体験になりました。（夕陽）

2010年11月24日～26日、パシフィコ横浜にて行われた「第12回図書館総合展」にて、LRPの活動を発表しました。

図書館総合展は、同運営委員会の主催、文部科学省、国立国会図書館、日本図書館協会等の後援により1999年から毎年開催されているもので、図書館にかかわる企業・関係者が一同に集い、最新情報の提供と情報交換を行う日本の図書館界の一大イベントです。

今回、当館が参加したのは、図書館その他の活動や研究成果を掲示物で自由に展示・発表する形の「ポスターセッション」でした。（当館は昨年に続いて二度目の参加です。）

発表内容は、2008年より発足したLRPの活動です。選書ツアーや、恒例の本棚企画、そしてメンバーお手製の作品も展示しました。

当日は、ポスター展示のみならず、昨年度LRPメンバーによって作成・発行された小冊子「150（ワコオ）文庫」や、機関誌『Counter』（1,2号）も配布しました。また、LRPメンバーの希望者も来場し、図書館スタッフとともに来場者への案内にもチャレンジしました。

参加したLRPメンバーからは、「普段なかなか見られない総合展の会場に来られて興奮しました」「（来場者への案内は）最初はちょっと気後れしましたが、やっていくうちにだんだん慣れて、できるようになりました」など、普段とは違う経験に、充実した感想をいただいたようです。

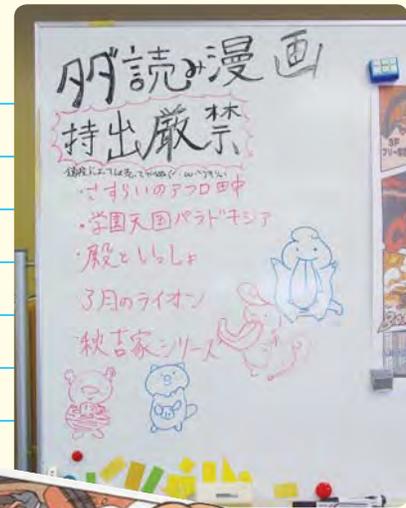


10/27

## コミック・アゴラ2010 開催！

去年に引き続き、コミック・アゴラ、今年も開催しました！ LRP 学生メンバー有志の持ち寄りコミックを3Fフリー閲覧スペースにて公開。初めて開催した昨年は、割合親しまれているタイトルを中心に集めたのに対し、今年は比較的にマニアックな、メンバーの個性あふれるタイトルが中心でした。午後1時から6時まで、コミックにどっぷり漬かったひとときでした。

「アゴラ」とは、古代ギリシア語で「広場」=人々が集い、自由に対話する場所のこと。



12/3

## 「クリスマスに贈る一冊」本棚公開！

クリスマスにプレゼントを贈り合う機会も多いことでしょう。そんなあなたに、LRP メンバーからとっておきの一冊をプレゼント！「クリスマスに贈りたい一冊」と題して、今年最後の本棚を作りました。特に今回は、LRP メンバーからのメッセージカードがもれなく付いてきます。どんなことが書いているかは、本を手にとってのお楽しみです！



1/17

## 「これが、わたしの歩む道」本棚公開！

みなさんは、自分の専攻は決まっていますか？  
これから決める人も、ただいま探求真っ只中の人も、ぜひ見ていただきたい本棚企画！その名も、「これが、わたしの歩む道」！専攻テーマとして決めた分野、「これが好きだ！」と決めて取っている講義の分野、所属の学科とは関係ないけれど興味のある分野など、LRPメンバー各人が選んだ本棚です。今年度最後の本棚企画で、いちばんアカデミックな企画かもしれません！



今年度最後の活動、来年度入学する新入生のための選書ツアーを、紀伊国屋書店新宿本店にて実施しました。学生メンバー14名、スタッフ4名の参加です。書店内での選書後、紀伊国屋さんの会議室をお借りして、恒例の「プレゼン」（他のメンバーに自分の選んだ本のセールスポイント等をアピール）も行いました。他のメンバーのプレゼンはわくわく、自分のプレゼンはドキドキ、これぞLRP選書ツアーの醍醐味！



忘年会でのひとコマ  
落書きにも、メンバーの個性が溢れています。

# Counter

## Counter 創刊に際して

学生の活字離れが叫ばれるようになってどれくらいになるでしょうか？

各出版社や図書館などが読書推進のイベントを行っています。この時代どれほどの人が、持ち運びやページをめくるもどかしさのあるこの媒体に魅力を感じ続けるでしょうか。小説や様々な情報が電子化され、それをより手軽に利用できるこの時代、すでに紙の本は淘汰されつつあるモノであるのかもしれない。

しかし本には失うには惜しい長い歴史と魅力があります。情報を記しておくことが目的だったはずの本は、いまやそれ自体が芸術であり文化だとも言えます。そこには本を読むことでしか得られないもの、投資した以上に感じられる何かがあります。

和光大学読書推進サークル「Let's Read Project」は本と人との出会いの機会を提供し、そしてその魅力を共有するためここに定期新聞「Counter」を刊行します。

## \*材料\*

- ・白米
- ・人参
- ・シソ
- ・鶏ひき肉(輪団子の代わり)
- ・アスパラ
- ・カレールー(市販のもの)
- ・南瓜
- ・長ネギ
- ・茄子



～和風カレー～

# 本を食べる!?

1. 鶏ひき肉はこねて団子状にして茹でる。
  2. アスパラは茹でた後、斜め切りで3つにする。
  3. 茄子は輪切り、南瓜は縦半分に分けて更に縦に薄切りにする。人参は薄く斜めに切り、それぞれ熱した油で揚げる。
  4. カレールーはカレールーの箱の裏面に書いてある通りにして作る。
  5. 紫蘇飯は、細く切った大葉を白米と混ぜる。
  6. 白米は冷水で洗ってよくすすぎ、1から6までのものを想像力に任せて盛り付ける。
- 「彼女が配ったのは益字染の白い皿で、お子さまランチのピラフのように小さな山になつた紫蘇飯に、アスパラ、南瓜、茄子、人参、輪団子が添えられ、上からルーがかかり、更にその上には長ネギの白髪が乗せてある。カレーとはいっても、見た目にも落ち着いて和食らしく仕上がっていた。」(359ページより)
- 「香気になごっていたシソ飯は、口に運ぶ際ほのかに香る程度で良い感じ。シソが苦手ならコマで代用しても美味しい。」
- 「市販のカレールーを使ったため、野菜の味が溶け込みます、ややしょっぱく、うま味が足りない。作中の人物はおそらくスライスから自作したのではないか。」
- 「盛り付けは想像力を使いきれず、手間取ると料理がどんどんぬるくなるので注意。」
- 【作り方】

「本の種を滑かして」菜屋探偵探偵録」

講談社文庫 高里椎奈

\*一冊の本から



\*一皿の料理を\*

☆今回の料理☆

## ドーナツ

『聖鬼』/ 泉美千子 / パロル舎

☆このシーン☆

あつあつのドーナツがふたつのお皿をうさぎの前に置くと、うさぎは待ちかねていたかのように、瓶を逆さにして盛大にシナモン・シュガーをふりかけた。ドーナツの上にリングの形の小さな山脈ができる。(37ページより)

☆材料(6個分)

- ・卵…1個
- ・グラニュー糖…大さじ3
- ・無塩バター…10g
- ・牛乳…大さじ1
- ・ベーキングパウダー…小さじ1
- ・薄力粉…150g
- ・揚げ油…適量
- ・砂糖…適量
- ・シナモン(お好みで)…適量
- ・強力粉…適量



・作り方・

1. ボウルに卵とグラニュー糖を入れて卵が白っぽくなるまで、よくすり混ぜる。
2. 溶かしバター、牛乳を加え、混ぜ合わせる。
3. 2に粉類を加えてゴムベラでさっくりと混ぜ合わせる。
4. 手でひとまとめでラップで包み、冷蔵庫で約30分休ませる。
5. 4をラップ2枚で挟み、厚さ1cmくらいに手で押し広げながら伸ばす。
6. 強力粉をはいたドーナツ型で5を抜いて、油で両面キツネ色になるまで裏返したりしながら揚げる。
7. キッチンペーパーの上に乗せ、油を切る。お皿にのせて、お好みで砂糖またはシナモンシュガーをたっぷりかければできあがり!!

☆ポイント☆

- ・ドーナツ自体はシンプルな作り方です。油で揚げる時は、オープンペーパーを四角く切ってその上に生地をのせてからやると、やりやすいです。
- ・トッピングの砂糖はたっぷりかけるとGOODですよ。

\*一冊の本から



\*一皿の料理を\*

☆今回の料理☆

## いも餅

『クドリヤフカの順香』  
米澤穂信 / 角川文庫

☆このシーン☆

じゃがいもが茹で上がったようだけど、お湯を捨てない。じゃがいもだけを、菜箸と味噌こしを使って上手くすくい出す。水気を切って、片栗粉の待つすり鉢に。(中略)鍋の中から、茹で上がったいも餅がすくわれてくる。小皿に盛って、醤油をひとかけ。(168～169ページ)

☆材料(中くらいのもの5個分)

- ・じゃがいも(中くらいから大きめのもの)2個
- ・片栗粉(小麦粉でもかまわない)50g
- (好みで、\*塩 少々、砂糖 小さじ1～2杯ほど)



・作り方・

1. じゃがいもは皮をむき、適当な大きさに切って、茹でるかレンジにかけて竹串がすっと通るくらいにする。
2. すり鉢に入れ、じゃがいもをよく潰す。(ボウルなどにあけ、フォークやスプーンで潰してもよい)
3. そこに片栗粉(小麦粉)を入れ、よくこねて、ひとかたまりにする。
4. 適当な大きさに分け(ここでは5等分)、まるめて団子状にして、大きい場合は少し平べったくする。
5. 沸騰したお湯にいれ、ゆでる。
6. 浮かんできたら、すくいだして、出来上がり。いも餅そのものにほとんど味がないので、醤油などをつけて食べる人が多い。

☆ポイント☆

- ・じゃがいものほか、長芋、里芋、さつまいも、かぼちゃなどでも作ることができる。
- ・本では、茹でてそのまま出来上がりだが、出来上がったものを、さらに油を薄くひいたフライパンで焼き(中弱火)、両面に焦げ目をつけても、香ばしくなっておいしい。

「本を食べる」コーナーは、小説等に登場する食べ物を実際に作ってみよう!という企画。料理好きなメンバーの力作が並びます。

Let's Read Projectのメンバーの自宅の本棚を紹介する企画です！  
今回はLPPの古典文学担当・二都(ふたつ)の本棚を紹介します。



↑なげなしのライトノベル達(△\_△)  
電撃文庫&角川スニーカー

読書日和 ① 二都の本棚



↑文庫コーナー 岩波文庫が大半を占めています！ 新潮と文春もちらほら。

→ヨーロッパ文学の古典が多いみたいです。文庫文庫は司馬遼太郎の「源平が如く」。



「読書日和 私の本棚」コーナーは、学生メンバー自宅の本棚の写真と共に、内容を紹介する企画。メンバーの趣味の世界を垣間見ることができます。

読書日和 ② ■■■の本棚

基本的に古書店で買い漁った本が並んでいる。中にはオークションで競り落とした絶版本もある。在庫はおよそ七百冊。一番高い本(レア物)はたぶん「アレイニー」の『プリスママティカ』だとと思われる。左の写真は本棚の一部であり、ここに収まりきれない本たちが所狭しと積まれている。文芸誌のバックナンバー等もあるので、部屋の七割は本が雑誌である。ちなみに祖母の家に乱歩の少年探偵シリーズ全四十六巻と『ドーンえもん』全四十五巻が出張中である。単一作家で一番多いのはいしいひさいち。どっとうわけか『人間以上』と『時間のかかる彫刻』が三冊ずつある。どっちもちゃんと読んでないのは内緒だ。買うペースが早いので、読まないで本棚の肥やしとなるケースが増えている。読んでやらないと思っただけはいるが、本は勝手に増えていくのであった。床との相談も大事である。

(総合文化学科3年 ■■■)

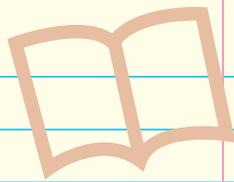


読書日和 ③ 猫子の本棚

自分の家の本棚についてですね。…私の家では、約2畳ほどのスペースがある納屋を「図書室」と称して、買って来た本のほとんどをこの本棚に入れてあります。入って左側に大きな棚があります。これは元食器棚で、現在の家に越した際に本棚として利用し始めました。主に母親の赤川次郎コレクションや、大河ドラマ『功名が辻』がきっかけで司馬遼太郎に目覚めた父の本、そして私が中学時代から好きな梨木香歩さんや北村薫さんの本があります。ちなみに、ベッドの下に入りきれなかった漫画も数冊。元食器棚の隣は主に単行本専用棚です。絶賛推薦作家の有川浩さんの『図書館戦争』シリーズがずらり、下の方には絵本が数冊。正面の白い棚は雑誌や映画のパンフレット、手のひらサイズの絵本や児童書があります。その右隣はいわむらかずおの『トガリ山のぼっけん』CSLイスの『ナルニア国物語』などの児童書や漫画『原宿パンピーチ(王子)』、母親のバッチワーク・トルペイント関係のムックや、猫の品種図鑑、海水・淡水魚やワニワシの写真集があります。この「図書室」は2階にあるので、床が抜けないかどうかはもっぱらの心配事です。

(心理教育学科1年 猫子)





メンバーおすすめ本紹介コーナー  
「Pick Up Book」。短い文章で本を  
紹介するのって意外と難しいんです！

**映画を見ると**  
著・池波正太郎  
新潮社

表紙の通り、まさに池波正太郎本人が演者を離れながら、目を凝めて映画を回り下るところが目に浮かぶよう。基本の鑑賞マナーから、俗に言う「駄作」を自分の糧にする見方まで、映画を自分の力に変える、それはきつと務をする。(215P)  
【心理教育学科1年 猫子】



**きみはポラリス**  
著・三浦しをん  
新潮社

三浦三郎の恋愛模様を描いた恋愛漫遊紀。穏やかな幸せに満ちた日常、届かない思いを綴った出せない手紙、不穏な過去。幸せの中で自分と相手の在り方を考え、伝わらない思いを抱きながら人を思い続ける人々の姿に心を動かされます。(107P)  
【総合文化学科2年 舞鶴】



## Pick Up Book

**窓占い**  
著・赤川次郎  
新潮社

クールで落ち着いた雰囲気の謎・みゆきが連続で窓多き姉・まどかの自由奔放な窓に振り回される日常をポップに書いた作品である。9つの窓物語が織られている。(243P)  
【芸術学科1年 夕陽】



**秘密の心臓**  
著・デイヴィッド・アーモンド  
訳・山田綱子  
東京創元社

ひきこもりがちな少年は「虎」を見た。ひなびたサーカスがやってきたあの日以来、世界は昨日までとは明らかにちがう何かがある。現世の世界に生きながら、異世界との間を漂っている子どもが心の深奥の「虎」を、解放放つ物語。(206P)  
【芸術学科2年 彪】



**翔ぶが如く**  
著・司馬遼太郎  
文春文庫

西郷隆盛が主催した「征韓論」は、国の存亡を賭けた抗争にまで沸騰してゆく。征韓論から、西南戦争の結末まで新生日本を根柢からゆさぶった、激動の時代を描く長篇小説全十巻。(352P)



**少女には向かない職業**  
著・桜庭一樹  
創元推理文庫

中学2年生の1年間で、あたし、大西葵13歳は、人をふたり殺した。これは、ふたりの少女の、血の噴き出すような闇の記録。痛切なストーリーが胸を抉る衝撃作。自称美少女作家の名著。(240P)



## Pick Up Book

**紅牙のルビーウルフ**  
著・淡路帆希  
富士見ファンタジア文庫



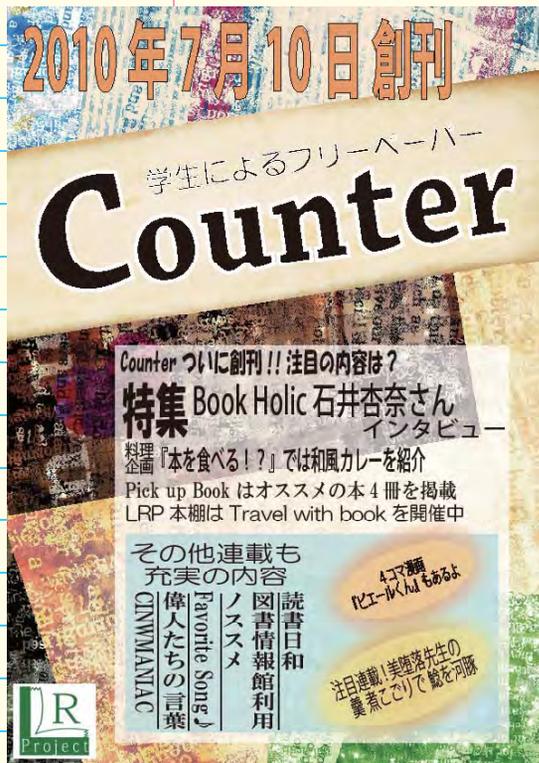
元気な女の子が大活躍のファンタジア大賞準入賞作！盗賊団に身を置くルビーウルフは、不似合いな長剣を携えた赤毛赤眼の美しい少女。狼の乳で育ち、狼を兄弟として「盗賊の姫」として育てられた。しかしある日盗賊団は、グラディウス国軍の襲撃を受ける……。 (328P)

**紅牙のルビーウルフ**  
著・淡路帆希  
富士見ファンタジア文庫

**蠅の王**  
著・ウィリアム・ゴールディング  
新潮文庫

南太平洋の孤島に、飛行機で不時着した少年たち。だが、その島で野性にめざめた彼らは殺りくをくり返す。極限状況の中の新しい秩序とその崩壊を通して、人間と社会のあり方を風刺する恐怖の寓話。(354P)



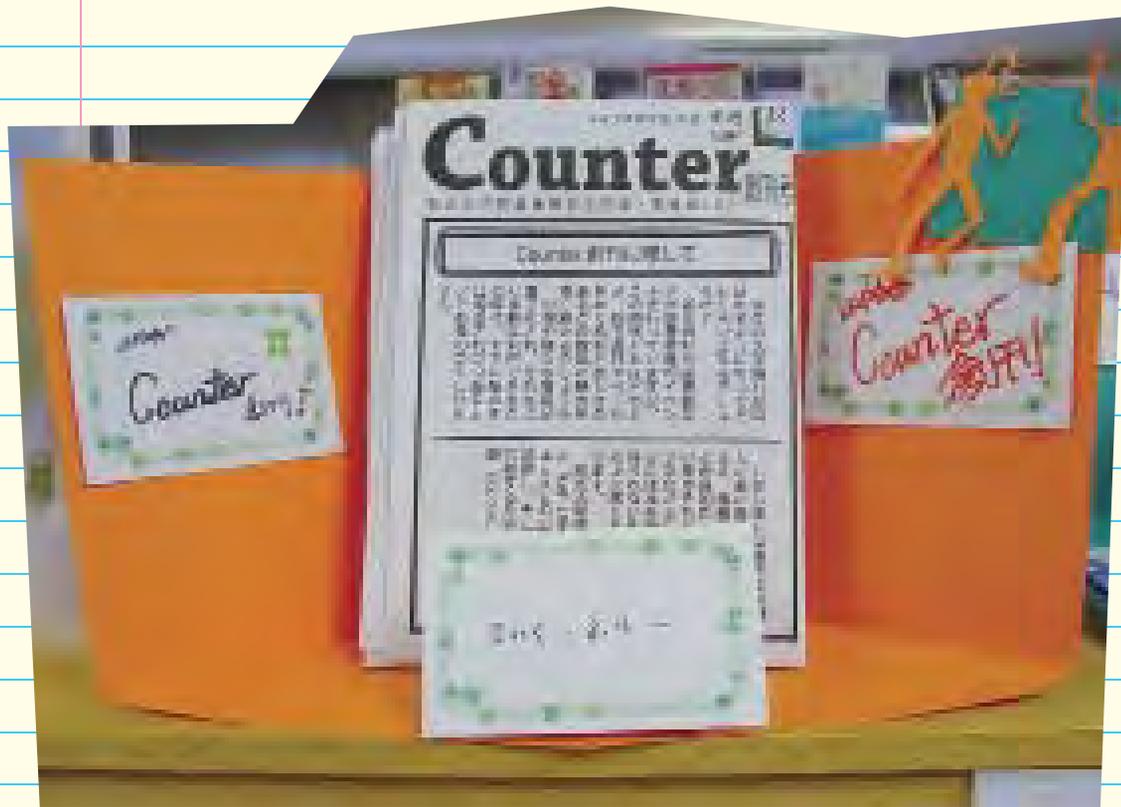


そのほかにも…

- ・連載コラム
- ・おすすめの映画
- ・おすすめの音楽
- ・マンガ「ピエールくん」(3p 掲載) など、

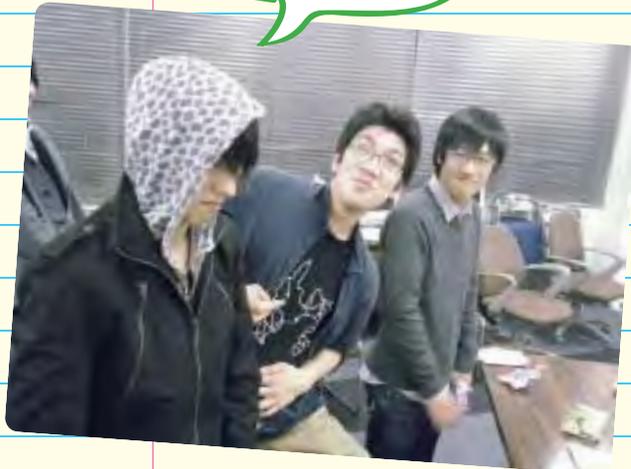
毎回内容盛りだくさんです。

図書・情報館にて **絶賛配布中!!**



今年を振り返って…

## LRP メンバーの 声



自分発案の企画が形になる喜び

(総合文化学科 2年 御膳)

本について話せる喜び。この喜びがLRPのメンツだけというのは悲しいものです。ぜひ、ビブリオバトルで外部への発信も!!

(心理教育学科 1年 猫子)

今年は一年生が多数入り、それぞれが活気を持って活動に励み、自分の出来ることに存分に力を注いでくれ、非常にエネルギッシュな一年を過ごせた。企画もテンポよく様々に出せたし、『Counter』という新聞も作れて勢いのよい日々を送れたことに、感謝の言葉ばかりである。次はまたどんな一年か、新たな企画も出るのか。春からがまた楽しみでウキウキする。

(総合文化学科 3年 九代目)

自分は7月からLRPに参加しました。図書館見学ツアーに行ったり、全国の本好きが集まった図書館展に参加出来て良い思い出になり、楽しかったです。色々と戸惑う事もりましたが、図書館の事務の方や先輩たちが活動内容を優しく教えてくれて心強く嬉しかったです。今度は自分が新入生に優しく教えられるよう、頑張ります。

(芸術学科 1年 キセキ)

人が増えて、それにより選ばれる本も増えて、いろいろ新鮮な一年でした。

(芸術学科 4年 NI)

本にくらず色々な体験(明大博物館見学など)ができて、とてもいい経験になりました。

(芸術学科 1年 319)

メンバーが増え、本棚企画などやるのが倍以上になったり、自分で企画をたてて実行するなど色々大変でした。まあ、でも逆に人数がいるからこそできることがあるというのを学ばせてもらった一年でした。

(総合文化学科 3年 無記名希望)



多種多様な本棚企画や図書館総合展への出展、『Counter』の刊行等々、昨年はLRPの活動を学内外に向けて広く発信する事が出来ました。今年もたくさんの方に僕たちの活動をアピールしていきたいと思います。

(総合文化学科 1年 いた)

新しい中心軸が登場し、今後に期待のできる嬉しい一年でした。

(総合文化学科 3年 ■■■)

大学図書館はすごく居心地が良いです。

(総合文化学科1年 はなか)

2010年のLRPの活動を、一文字で表すなら「熱」(あつい)だと思う。初の卒業生、個性の強い新メンバーの加入、そして人を驚かすような企画の数々。まるでAKB48のようだ。2011年は、2010年以上に活動を活発にしたいものだ。

(総合文化学科3年 美墮落先生)

部員が増えて、できること、やりたいこと、オススメした本、オススメされた本、部室で話す時間、遊びに行く機会など色々なことが増えました。そして、素敵な本棚もたくさん！本当に楽しい一年でした。

(総合文化学科4年 つむじ)

『Counter』を編集するのは大変だったけど楽しかったです。

(芸術学科2年 彪)

LRPのメンバーは本当に本が好きな人ばかりで、正直自分はまだまだだな、と入った当初はよく思いました。一年活動してきた今もさほど変わってはいませんが、自分なりに好きな本を紹介してきたつもりです。あまり企画に参加できない時期もあったので、来年度はもっといろんな本を紹介できるようにしたいです。

(芸術学科1年 みつこ)

今年は新入生がかなり増えて、イベント等の交流も増え、「広」を感じさせる一年でした。

(総合文化学科3年 ドラ息子)



LRPに入って良かったです。マイペースで人見知りな私ですが、わりとすぐに打ち解けられ、今は「居場所」と呼べるくらいになりました！

(芸術学科1年 夕陽)

本のサークルなのに、ボクはこの一年これといって本を読んでいない。自慢じゃない、いや自慢だ。どや顔で言いふらしていた。まったく困った部員である。しかし、一番部室に長く居たのではないだろうか。大学の中でボクの居場所はここしかない。そして非常に居心地が良い。感謝感謝でした。

(芸術学科1年 ぴぐめん)

いつもは手に取らないような、違ったジャンルの本を今年はたくさん知ることができました。楽しく、また、勉強にもなった一年でした。

(総合文化学科1年 はーちゃん)





メンバー力作の本棚案内マンガです！ 作：心理教育学科1年/猫子



LRP レポート Let's Read Project 2010  
2011年3月19日発行

【編集】「LRP レポート」編集委員会 【発行】和光大学附属梅根記念図書・情報館  
〒195-8585 東京都町田市金井町2160 TEL:044-989-7494 FAX:044-989-2250

デザイン 木下 弥